

第46号 2007.6.29

高知県立幡多けんみん病院発行

〒788-0785

宿毛市山奈町芳奈3番地1

TEL (0880)66-2222(代)

http://www.pref.kochi.jp/~hata

病院ニュース

News Letter

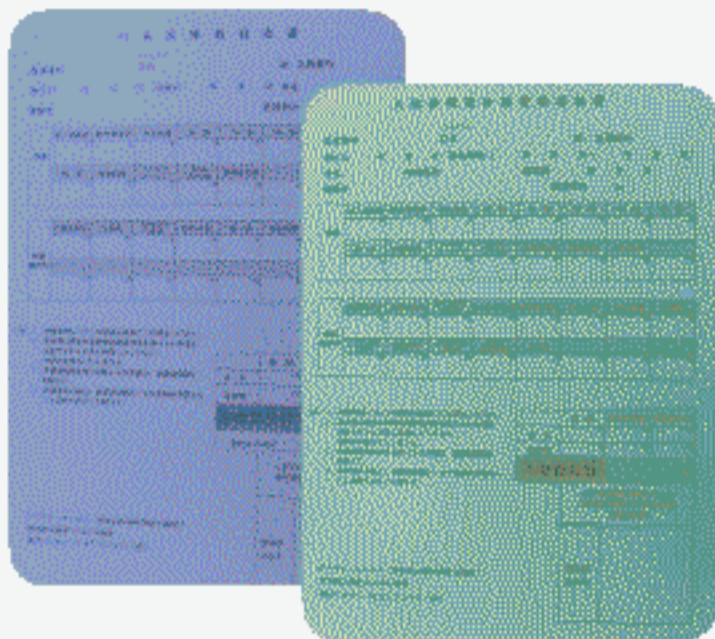
リニューアルします！

領収書・再来受付機・
診察カード

7月1日から医事会計システムが新しくなります。

それに伴い、患者さんが目にするものが新しくなります。

まず、患者さんにお渡しする領収書です。入院は緑色、外来は青色、いずれも今までより鮮やかな色付きの用紙になります。また、カラーコピー機でも複製されることのないよう、複製防止用紙を採用しました。



次に、正面玄関を入ってすぐ右手にあります、再来受付機です。これまでと同様、直接画面をタッチして操作していただくなど、できるだけ今と変わりないような仕様になっています。



最後は診察カードです。7月以降に発行される診察カードには、今までの青色の印字に加え、患者さんの漢字氏名、患者番号が黒字で印字されるようになります。

青色の印字箇所が擦れて見にくくなったカードも、黒色の印字があることで氏名、患者番号の確認が容易になります。

すでに診察カードをお持ちの方も、ご希望があれば無料で新しいカードを再発行いたします。ただし、その際はお持ちの診察カードと差替えになりますので、ご了承ください。紛失された場合のカード再発行は、これまでどおり有料での発行になります。



CC委員会

昨年度まで、「くすのき委員会」「広報委員会」として活動していた両委員会が、19年度より「CC委員会」として活動します。「CC」はCreative・Communicationの略で、創造的なコミュニケーションの輪を広げる活動をする委員会に生まれ変わりました。具体的にはホームページ・広報紙、「ご意見箱」などのツールを利用し患者さんと職員はもとより、職員間や他施設とのコミュニケーションの輪を広げていく委員会です。



ホームページ、広報紙については、現在もたくさんみなさま

まに見ていただいておりますが、今後、新しい情報をより早く、もっとたくさんの人に見てもらえるようなものを創意工夫していきます。

「ご意見箱」については、これまで患者さんからの数々のご意見をいただきました。院内数箇所を設置し、いただいたご意見には全て回答するというところから始まり、昨年度は、みなさまに広報が必要なものだけを取り上げるということで運用しておりました。今後は、より一層中身の濃いものにしていくため、設置場所を総合案内1箇所のみとし、より業務改善に前向きなご意見を取り上げていきたいと思えます。今後みなさまに広くお知らせすべき内容は広報紙に掲載していきます。

今後は、「ご意見箱」をみなさまと病院とのコミュニケーションのツールとしてご利用ください。また、広報紙に掲載して欲しい情報などがありましたら、ぜひ「ご意見箱」をご利用ください。



和食のすすめ

栄養科



「ゆっくり、良く噛む」

梅雨も明け、田には青々とした稲が初夏の日差しにたなびいています。秋の収穫が待ち遠しい季節となりました。米の豊作はうれしい事ですが、「朝はパンです」という声もよく聞きます。

もちろんパン食が良くないというわけではありませんが、現代の食事はともすれば、口当たりの良い、やわらかい食品に偏る傾向があるようです。言い換えれば「ゆっくり、よく噛む」ということがおろそかになっているようです。

また、早食いは消化が良くないというだけではありません。

ファーストフードに代表されるように、食事を簡単に済ますということが「食の軽視」や「糖質や脂質の摂り過ぎ」につながっているといわれています。まさに「そんなに急いでどこへ行く」という感じです。

この点、温かいごはんや野菜や豆腐やお芋のたっぷり入ったお味噌、地元で採れた新鮮な野菜や魚をバランスよく組み合わせた和食のメニューはゆっくり、よく噛む面でもよい食事といえます。

少し立ち止まって、「ゆっくり、よく噛む」ことを真剣に考えてみるのはいかがでしょう。これが日本人の基本的な食事の型で、和食が健康に良いといわれた所以のひとつだからです。



はじめまして

医師の
ご紹介

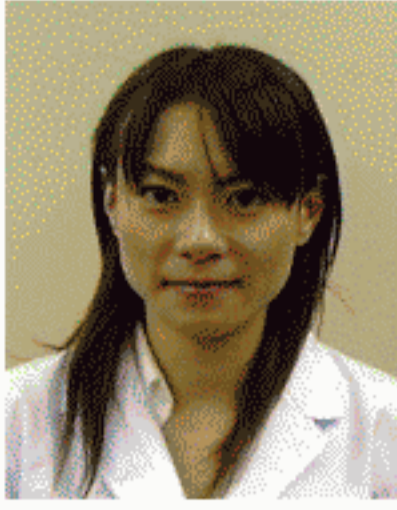
7月から赴任予定の医師をご紹介します。

【産婦人科】



松島幸生医師

【皮膚科】



高田由美医師

どうぞよろしくお願い致します。

院内の落とし物について

院内で落とし物をされて困った経験をお持ちの方は少なくないと思います。そんな時は、当院での落とし物の取扱いは次のようになっておりますので、参考にしてください。



【落とし物の保管場所】

落とし物は、総務課で保管しています。ただし、落とした当日などは、まだ総務課へ届いていない場合もありますので、お問い合わせください。不明な場合もあります。ご了承ください。現金等については、数日間保管後、警察に届出ます。

【落とし物の保管期間】

原則、落とし物として総務課へ届けられた月から二ヶ月後の末日まで保管しています。

(例) 6月8日に届けられたものは、8月末まで保管しています。

総合案内の後ろに「落とし物リスト」があります。当月より前の落とし物のうち総務課で保管しているものが掲載されております。当月より前に落とし物をされた方は、こちらのリストでお調べいただくことをお勧めします。窓口や近くの職員にお問い合わせください。お調べできないこともありますが、迷惑をおかけしますので、ぜひ、「落とし物リスト」をご利用ください。

【その他】

落とし物を取りにこられる際は、身分証明書(免許証、保険証等)をご持参ください。

落とし物、忘れ物が増えています。運良くどなたかに拾われた場合でも、戻ってくるまでに手間がかかります。くれぐれも注意しましょう。

院長からひとこと

現在、全国の特に地方の公立病院で勤務する医師が不足して問題になっています。幡多地域でも四万十市民病院では医師の減少のため業務を縮小せざるを得なくなっており、その結果当院の負担が増加してきています。当院では、手術が必要な患者さんなどの重症の患者さんが増加してきており、大変忙しくなっています。

当院でも十分な医師が招聘できていないわけではなく、少ない医師で多くなった業務に対応していただいている状況であり、当院の医師が過重な労働状況になっていくのを大変心配しています。一つの病院で始まった医師の不足がもう一つの病院の業務を増大させ、その病院の医師の過重労働を招き、その地域の医療が崩壊してしまうということが日本のあちこちで起こっています。なんとしても当院がその様な事にならないようにしなければと思っています。皆様の協力をよろしく願います。

病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

あじさい 院長の庭から

梅雨の時期になるとなんだか憂鬱な気分になりがちですが、この時期に美しい花を咲かせる植物があります。それは紫陽花（あじさい）です。雨にうたれるごとに花の色をまましていくたくましい花です。そのせいなのかどうなのか、花ことばも「辛抱強い愛情」「元気な女性」です。

あじさいを「紫陽花」と表記しますが、本来「紫陽花」は唐の詩人白楽天が命名した、全く別の花のようです。しかし、未だにその花がどのような花なのかは不明とか・・・。いったいどんな花なのかとても興味深いですね。

あじさいの由来は「あづ（集まる）」と「さい（直藍）」で、青い小さな花が集まって咲く様子を表現したそうです。それに平安時代の学者が「紫陽花」という漢字をあて、誤用が広まった

たようです。

長崎オランダ商館の医者として日本に滞在していたシーボルトは、あじさいに特別の興味を抱き、愛する人「お滝さん」の名前をとって「Otakusatō」と命名したという、ロマンチックな話もあります。

梅雨はうっとうしいばかりではなく、楽しいこともあるものだ。何事も気の持ちようなのかもしれない。



5月の統計

外来患者数	15,590人
新外来患者数	2,485人
紹介患者数	445人
新入院患者数	568人
退院患者数	519人
平均在院日数	14日
救急車・時間外患者数	1,657人
手術件数	230件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。